



篠原小学校「学校だより」

令和6年5月1日

しのささっ子



楽しみは しのささっこの良いところ見付け

花に囲まれた篠原小の朝は、元気な声と、心安らぐBGMから始まります。

本校に赴任して早1か月。私の日々の楽しみは、「しのささっこの良いところ見付け」です。今回は、その一部を紹介します。

- ・それぞれの門や児童玄関で、目を見て笑顔で「おはようございます」と挨拶する子。日中は、進んで「こんにちは」と挨拶する子も大勢います。
- ・1年生の弟や妹の手を繋いで登校する子。中には、下の子の荷物を持っている面倒見の良いお兄さんやお姉さんもいます。
- ・広い運動場で、縄跳びやボール運動を思いっきり楽しむ子。先生も一緒になり、みんなで決めたクラス遊びをする、活気の溢れた学級もあります。
- ・旗揚げ、朝の放送、給食の片付け等、委員会活動に意欲的に取り組む子。自分が担う立場で、学校をより良くしようという頼もしさが伝わってきます。
- ・給食を「美味しい!」と頬張っている子。授業中と同様に、新しいクラスの仲間と楽しそうに過ごす姿は、本当に幸せそうです。
- ・「自分たちの学校なのだから美しさを保ちたい」と、運動場のゴミ拾いを進んでする子。心がきれいだからこそできる行動だと感動しました。

本校の明るさや爽やかさの根底を築くのは、「どうしたらより楽しめるか」と進んで考えて行動していこうとする心や、「どうしたらよりよくかかわっていけるか」とみんなのことを思いやる心なのでしょう。それは一朝一夕に育まれるものではなく、しのささっ子を日々優しく見守ってくださる保護者や学校運営協議会、健全育成会や民生委員等、地域の皆さんのおかげではないかと感じています。本校を巣立った中高生で気持ちのよい挨拶をする子が多いのも、その証だと思います。

今年度は150周年を迎える記念すべき年です。このタイミングで本校に勤務し、一緒に祝うことのできる縁をうれしく思います。この素敵な伝統を、10年後、20年後…と繋いでいけますように。

たくさんの優しさや温かさに触れることができたこの1か月。どんな「にこにこ、きらきら、ぐんぐん」な姿を見付けられるか、どんな魅力と出会えるか。今後の「良いところ見付け」も楽しみにしています。

教頭 藤井 早苗